

2023年度 【児童デイサービスともいき】自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 所見、工夫している点など | 保護者様からのご意見・ご要望と その対応など |
|--------------|---|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 通所生活介護の一部のスペースを共有フロアとし、時間帯を分けてパネルで区分けして過ごしていただいています。 | 新型コロナウイルスの感染症分類が5類となりましたが、ご家族の施設内立ち入りは最低限の対応とさせて頂いている為、児童が過ごしている様子を実際に確認する機会が少ない状況でご回答頂いています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 職員配置は、必要な時間に必要人数を手配していますが、感染対策の一環で急遽休みになるスタッフが発生した時や慌ただしい時間帯では、人手不足を感じます。その中で、円滑に支援が提供できる工夫を検討してまいります。 | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 一昨年「いいえ」回答の反省から、取り組みを行ない、昨年は「はい」回答でした。その継続ができなかった為、改めて密なコミュニケーションに努めます。 | - |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | ご家族からご回答いただく評価は、概ねポジティブな回答となっておりますが、スタッフ回答も含めて、更なる満足度と質の向上を目指していきたく思います。 | - |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 毎年、法人ホームページにてスタッフ向け・ご家族向けを合わせて集計し情報を公開しています。 | - |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 第三者機関評価は行っていませんが、状況に合わせて実施する学校や他事業所(相談員等)との情報共有等により課題を確認しています。 | - |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | SDSの一環として、各種研修の案内を実施してきました。また、研修を受講した内容を会議などで要点伝達を行い、職員の資質向上に努めています。 | - |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 日々の支援をアセスメント場面で定めて成長や変化を記録・共有して個別支援計画に反映させ、次の支援に活かせるように努めています。 | 全て「はい」の回答を頂いています。日々の支援とご家族等との情報共有の中で、課題発見・支援を検討して、成長に繋がる計画作成を継続してまいります。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 日常生活支援の内容と一体化させた用紙をアセスメント記録とし、アセスメントと日常支援を連動してまとめています。 | - |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 主任職員を中心に他職員の意見も確認しながら検討を行ない、楽しめる活動を目指しています。しかし、活動の目的等、整理しなればいけない課題は多くあると感じている為、次年度、検討・整理を行ないます。 | 直接ご質問いただく機会は設定できていませんが、活動内容や利用児童の反応をお伝えしています。自宅での会話からも、「楽しんでると思う」との回答を多く頂いています。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 滞在時間に合わせて課題を考えて、プログラムを検討しています。 | - |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | また、個別支援計画の充実の為、個別ニーズに合わせた個別活動も実施しています。「楽しみ」と「生活課題」のバランスも考えながら、今後も工夫を重ねていきたいと思えます。 | - |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 職員の勤務時間が異なり、全支援終了時に集まって打ち合わせや振り返りを行うことできませんが、内容は記録に残し、翌日支援開始前に確認しています。 | - |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | | ○ | また、日々の気づきは気軽に共有出来る様に情報交換ノートを作成し支援に対する想いを共有していましたが、活用が少し薄れてきてしまった事が、⑩の「いいえ」回答に繋がってしまったと見立えています。これまでの課題解決の為に実施を決めた取り組みはきちんと継続して不都合が起きない様に努めます。 | - |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 日誌等の記録も、第3者へも説明できる記録となるよう、丁寧記載することを共有しています。 | - |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 毎月モニタリングの記録を作成し、支援の振り返りと、今度の対応の確認を行っています。 | - |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | ○ | | | 児童デイサービスともいきとして目指すものは何か、日頃のコミュニケーションの中で共有を心掛けています。次年度は改めて、部署会議の中でもガイドラインの振り返りを行いたいと考えています。 | - |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | | サービス担当者会議の開催は1件でしたが、児発管が出席し、関係者間の情報共有を行いその後の支援に繋がっています。その他、個別に担当相談員や学校職員との情報交換を行いました。 | - |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | ○ | | 連絡ノートを基本に連絡を取っています。特に課題になることに関しては、電話連絡を行なう事もありますが、前年度に引き続きまだまだ不十分な状況です。 | - |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 2023年度、1名の新規での受入児童がございましたが、医療的ケアが必要な児童の利用はありませんでした。 | - |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 担当相談員を中心に連携をとりながら、安心・安全・安定したご利用に繋がれるように努めてきました。 | - |

| | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|--|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 進路の決定連絡を受けた際は、情報提供を行なわせて頂く旨の説明を行なっています。また、要請があれば移行支援会議の参加調整も行なっています。 | - |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | 児発管が埼玉県発達障害総合支援センターが開催する研修に参加しています。その情報は、事業所内でも共有に努めています。 | - |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | コロナ禍以降、放デイ利用児童・職員以外との接触は自粛しています。しかし、併設している入所施設(障害者支援施設)で行なわれたイベントには感染予防を徹底して1回参加しました。 | ご家族からは積極的な希望と消極的な希望の両方がありますが、前年度よりも積極的な意見が多くなりました。その他、多くの方は交流に対する希望に関して悩まれている印象を受けています。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 法人の相談支援部門職員が地域自立支援協議会に参加していますが、その内容確認ができておらず、情報の共有ははずみませんでした。 | - |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 連絡ノートや、送迎等の引き渡しの場面、直接ご家族にお会いした際に、その日の状況を伝え、ご家族からご家庭での日々の状況をお知らせ頂いています。その中で、課題の発見・解決に向けて支援を検討しています。 | 全て「はい」の回答を頂いています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | また、ペアレントトレーニングは実施できていませんが、利用中の対応等はお伝えし、ご自宅での参考にしていただける様に行っています。その他、相談を受けた際には、解決に向かって助言なども実施しています。 | - |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に、重要事項の説明と合わせて実施し、規定更新時はその都度ご説明しています。 | 全て「はい」の回答を頂いています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | | ○ | 連絡ノートでの情報交換の他、送迎時や保護者来訪時に適切に対応し、その他緊急時などは電話での情報共有を実施しています。 | 「どちらともいえない」との回答が3件から1件に減少しました。引き続き、適切な対応ができる様に努めていきます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 感染予防の観点から実施は自粛していますが、今後は、ご家族の希望も踏まえて検討をしていきたいと思っております。 | ご家族から積極的な希望は少数でした。継続的に希望を確認しながら実施を検討していきたいと思っております。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 法人として、要望・苦情受付体制を整えています。日々のご家族との情報交換の中で、苦情になる前の段階で対応が出来るように心掛けています。ご希望に沿えない場合でも、丁寧な説明を心がけ、可能な代替案の検討を行なってきました。 | 全て「はい」の回答を頂いています。支援内容に関して、いくつかのご要望を頂きました。すぐに対応出来る事と時間がかかること等ありましたが、貴重なご意見に対して、改善に向けて取り組みを継続しています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | | ○ | 皆さまに楽しみにしていただいていた児童支援版広報誌ですが、2023年度には発行できませんでした。次年度は担当者を確保して定期的に発行していきます。 | 広報誌は未発行となりましたが、日々の連絡ノートや送迎時などで、情報の発信と共有に努めました。結果として、概ね「はい」の回答を頂いています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 日々の支援の中で、個人情報の管理等については啓蒙を行ない、守秘義務に努め安心してご利用いただける様に努めています。 | 全て「はい」の回答を頂いています。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 児童に対しては、言語的コミュニケーションだけではなく、その仕草や様子等から思いを推測できるように情報を共有しています。家族に対しては、支援方法や反応など適切な情報交換を目指しています。 | 全て「はい」の回答を頂いています。ご家族からの情報が、支援検討のヒントになることも多い為、今後も双方向の情報共有・連携をしながら支援を実施していきます。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか | | | ○ | 感染予防の観点から、地域に向けた行事などの開催は現在自粛しております。 | - |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 2023年度も、前年度に引き続き併設部署の感染症流行により感染予防として臨時休所となることがありました。しかし、完全に休所するのではなく縮小した形で開所し続けられるように努めています。BCP(事業継続計画)は、これまでの経験を活かした内容に更新を進めています。避難訓練は、法人として年3回行いましたが、午前中の実施となった為、児童の参加は1回のみとなっています。放デイ独自の緊急時避難方法等の周知・徹底はできていませんでした。 | 併設部署の感染症流行により臨時休所等させて頂くことが複数回あり、利用児童・ご家族にはご不便とご心配をお掛けしてしまいました。複合型施設のデメリットにあたる部分となりますが、感染対策に対してご理解とご協力を頂いています。避難訓練等は、児童が参加する機会を設けましたが、欠席も多く参加者は数名でした。その結果ネガティブな回答が多かったです。次年度は、情報の発信を含め、災害対策を周知しながら、より安心してご利用いただける様努めます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | | ○ | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 法人全体の取組として、虐待防止・身体拘束適正化研修を2回実施しました。その内1回はロールプレイも実施し、立場の違いによる感覚の違い、それを踏まえた支援のあり方を学ぶことができました。この感覚は、今後の支援に繋げていきたいと思っております。個別的身体拘束の対象児はいませんが、安全管理なども含め丁寧な説明を心掛けています。 | - |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 2023年度も、食物アレルギーのある対象児童はいません。必要時には管理栄養士と連携のもと、対応できる体制があります。 | - |
| 家族満足度 | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 法人全体で、アクシデント・インシデント・ヒヤリハットの3種類で集計と分析を行なっています。また、KYTをはじめとする注意喚起も継続しています。 | - |
| | 44 | お子様は通所を楽しみにされていますか? | ○ | | | | 全て「はい」の回答を頂いています。活動内容や職員の関わり、自由活動の整備なども含め、更に楽しみを増やすことができる支援を目指していきます。 |
| | 45 | 事業所の支援に満足されていますか? | ○ | | | | 全て「はい」の回答を頂いています。継続してご満足いただける支援の継続を目指していきます。 |